



NO.888

2012.10.14

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三三-四四五八  
F四三三-四四五七



平成23年度・9月議会

# 6 特別会計決算及び水道事業会計決算に反対!

## 決算委員会での反対討論 その2

**市有財産整備特別会計は**、潮見住宅団地軟弱地盤対策費用で23億円4,800万円を超え今後も事業を継続せざるを得ないもので、皆さんの造成と売却の結果であり、認められません。

**国民健康保険特別会計は**、平成23年度に中間所得層の負担軽減で平均4,100円程度の引下げを行い、保険料の収納率や滞納分収納率の改善は評価するが、それでも保険料が高い状態に変わりない。他市でも行っている一般会計から繰入れにより負担の軽減を図り、特に負担の重い低所得層には最大の配慮をすべきです。

命にかかわる資格証明書の発行は基本的には認められません。  
**網走港整備特別会計は**、過大な整備により、いまだ15億8千万円の繰上充入金という赤字があります。港湾用地の売却基準価格の大幅改定をしても前途は大変で、未売却地多く、赤字は国のゼロ金利政策により救われてるが、土地が売れない限り第二の能取になりかねないもので認められません。

**能取漁港整備特別会計は**、市有財産特別会計に2億3,500万円用地売却したため、赤字は6億9,100万円になった。しかし、なお未売却地を多く残し、今後、全部売却しても、5億9,

700万円しかならず、9,400万円の赤字は残るといって極めて厳しい状況です。過去の市政の負の遺産ではありませんが、承認できません。

**流水館特別会計は**、一般会計から約35,000千円の繰入れで、辛うじてやり繰りしている状況です。このような中で流水館の立替計画があり、本年10月に基本計画が出されるといふことでありますが、今やるべきは、流水館特別会計の健全化の計画を立てることが重要であり、現時点では認められません。

**後期高齢者医療特別会計は**、民主党政権が公約違反で廃止を反故にした会計です。今後、際限ない保険料の自動値上げの仕組みは残り、75歳以上の高齢者を困り込み差別した医療を許すことできず、認めることはできません。

**水道事業会計は**、事後保全型から導水管の延命を可能な限り行う予防保全型へ転換に努力している事は承知していません。しかし、導水管の第2漏水箇所の事故原因究明に係わって、破断した本管の調査をしないことは納得できません。

真の原因究明し、2度と断水事故を繰返さないためには、破断した管の調査しかならないです。  
以上の理由から、認定できません。

# 松浦奮戦も！

生活保護受給者の医療費について、新任の厚生労働大臣、副大臣から自己負担の導入を検討するとの発言が相次いでいます。

三井厚労大臣は「自己負担も含め、全額無料があり得ないということも検討していきたい」と発言しました。その後、同省職員の説明を受け、発言を「訂正」として再度会見を開きました。しかし、それでも「自己負担の導入は、金銭的な理由により、必要な受診を抑制してしまう恐れがあるなどの理由から、慎重に検討する必要があります」と述べ、「検討」自体は撤回しませんでした。何という人が厚労大臣になったのでしょうか。

『今の生活保護受給世帯から医療費をどうやって負担させるのか。実態を知らない人間だからこそ、非人間的な発想が生まれるのだ』と、強い憤りを感じました。

# いよいよ東奔西走

10月8日は「体育の日」でした。基本法は、体育の日の行事について「広く国民があらゆる地域でそれぞれの生活の実情に即してスポーツを行うことができるような行事が実施されるよう、必要な施策を講じ、及び援助を行う」(第23条)ことを、国や自治体に求めています。しかし、実際の現状は目標に程遠いものです。

スポーツ施設が最盛期より9000カ所も減っているにもかかわらず、文部科学省の来年度概算要求では、整備費はゼロで、これでは国民のスポーツ実施率のアップはとうてい望めません。

オリンピックや世界選手権で大活躍すると、国は国民栄誉賞やさまざまな表彰にはすぐ反応して、授与者として目立ちますが、こと頂点を極めるための裾野・土台造りには冷淡そのものです。  
今こそ、「スポーツは国民の権利」を実現する政治が求められています。

# 流水

最近驚くことが多すぎます。驚くと言ふより、腹が立つと言ふ方が正確かも。あきれ果てて虚しくなってくると言った方がより正確かも知れないことが。▼自民党の総裁選が行われませんでした。5人も立候補しましたが、投票権があるのは当然ながら自民党員です。自民党員はほとんど減っているから一部。言ってみれば、自民党というコップの内の争いですが、いくら次の総選挙後に首相になるかも知れない？とはいえ、連日のテレビや新聞の取り上げようは、驚きあきれました▼それよりもっと異常だったのは、立候補していた5人が5人とも2世・3世議員だったということ! (この地域の選挙区でも引退を表明した現職の後継者は息子)、言い過ぎかもしれないけれど、政治で一番肝心な庶民の暮らしを知らない、おぼっちゃまが、国会議員。まして総理になってこの国をどうしようと言ふのだろうか? 小泉、福田、安倍、麻生、鳩山。最近の総理は2世、3世のオンパレード! いずれも私たち国民の暮らしが良くなりましたか? ▼当選したのは一度総理の座を投げ出した人、相も変わらず「美しい国」などと言っています、中身は憲法を変え、軍隊を持ち天皇中心の道徳観を押し付ける。1世も驚いていることでしょう▼尖閣列島や竹島などの領土問題で自民党は「民主党は弱腰だ、外交力がない」などと盛んに批判していますが、民主党は自民党がやってきたとりにやっています。驚き、あきれます! ▼領土問題と言えば「福島」もちろん日本領土です。この陸続きの領土を放射能で汚染して、人も住めない状況をつくりだしました。「領土を守ってない」のでは? 原発をむやみにつくったのはアメリカ言いなりの自民党です。次の「福島」をつくる、再稼働をしたのは自民党です▼あきれ果てて虚しくなるというながらも国民は怒っています。こんな政治は変えてやろうというエネルギーが蓄積してきています。選挙で政治を変えましょう。(〇)